

リハビリテーション治療学特講

[講義] 第1学年 前期 選択 2単位

《担当者名》 中川賀嗣 田村至 黒崎芳子

【概要】

高次脳機能障害とそのリハビリテーションについての学際的知見について学ぶ。

【学修目標】

一般目標 高次脳機能障害研究の現状を理解する。

行動目標 高次脳機能障害の各症状に対するリハビリテーションを理論に基づいて実施できる。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1) 5	高次脳機能障害研究の現状	高次脳機能障害研究の現状についての基礎的知識を総括する(失語、失認、失行や前頭葉機能障害、記憶障害、脳梁損傷ほか)。	中川賀嗣
6) 10	高次脳機能障害(認知症、前頭葉機能障害など)にかかわるリハビリテーション	脳血管障害、神経疾患による高次脳機能障害(認知症、前頭葉機能障害など)について文献研究を行う。	田村至
11) 15	失語・高次脳機能障害(記憶障害、前頭葉機能障害など)に関わるリハビリテーション	失語・高次脳機能障害領域の、とくに記憶障害、前頭葉機能障害などに注目し、リハビリテーションの研究動向およびその成果について文献調査などから学ぶ。	黒崎芳子

【授業実施形態】

面接授業と遠隔授業の併用

授業実施形態は、各学部(研究科)、学校の授業実施方針による

【評価方法】

講義でなされる討論の結果に基づく(討論の内容50%、作成資料の内容50%)

【教科書】

高次脳機能障害に関する学術雑誌の内容に基づいて行う。

【学修の準備】

予習

文献の読み込み等を十分に行う(30分)

復習

各高次脳機能障害の特徴をケースレポートなどから判別できるように復習する(30分)

【実務経験】

田村至(言語聴覚士)

黒崎芳子(言語聴覚士)

中川賀嗣(医師)

【実務経験を活かした教育内容】

臨床経験に基づく講義を行う。